

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名 株式会社テクノ・セブン 上場取引所 東
 コード番号 6852 URL http://www.techno7.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 征志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 東 由久 (TEL) 03-3245-1431
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,290	12.6	154	△4.8	147	△5.1	79	△9.0
25年3月期第2四半期	1,146	12.6	162	22.3	155	21.5	87	25.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 203百万円(223.6%) 25年3月期第2四半期 62百万円(3.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	5 82	—
25年3月期第2四半期	6 39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,664	1,738	42.5
25年3月期	3,484	1,583	40.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,559百万円 25年3月期 1,413百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0 00	—	3 00	3 00
26年3月期	—	0 00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3 00	3 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,650	11.1	365	11.7	345	11.0	200	16.1	14 66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期2Q	13,772,400株	25年3月期	13,772,400株
26年3月期2Q	132,050株	25年3月期	130,611株
26年3月期2Q	13,641,456株	25年3月期2Q	13,642,899株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年12月に脱デフレ、経済再生を掲げ発足した安倍政権の経済運営への期待や黒田日銀総裁の下で実施されている日本銀行の積極的金融緩和政策により、円高は修正局面に入りこれを好感した株式市場も反転してまいりました。政府は6月に成長戦略を発表、7月の参議院選挙では国会のねじれ現象も解消したことから、今後この成長戦略の着実な実行が期待されています。一方、企業収益は円安メリットもあり改善が進んでおり、これを受け雇用環境や消費者マインドも緩やかに改善し、好調な個人消費が日本経済の足元を支えつつあります。海外経済も、米国で家計のバランスシート調整が進展し個人消費が底堅く推移するなど、全体的には緩やかな回復傾向が続いています。

このような状況下、当社グループは、システム事業・事務機器事業をメインに不動産事業を加え、3事業を柱に事業の効率化、利益体質への改善を進めながら事業の拡大に努めてまいりました。なお、第1四半期連結累計期間より、セグメント別名称のうち、〈ソフトウェア関連事業〉は、〈システム事業〉に名称変更しています。

セグメント別の業績につきましては、以下のとおりです。

<システム事業>

システム事業につきましては、システム開発技術支援に対する顧客からのニーズが増えたこと、営業活動強化により新規受注が拡大したこと、またエンジニアの採用を積極的に進めたことから、システム事業の連結売上高は、799百万円(前年同期比21.3%増)となりました。

<事務機器事業>

事務機器事業につきましては、主力製品の販売額と設備投資需要の不冴によりシステム案件の受注が伸び悩んだものの、OEM等の新商材の導入による商品ラインアップの拡充や販売力強化により、事務機器事業の連結売上高は、424百万円(前年同期比1.7%増)となりました。

<不動産事業>

不動産事業につきましては、所有賃貸不動産の稼働率維持に努めてまいりましたが、法人向けの賃貸物件において賃貸料の見直し等があったため、不動産事業の連結売上高は、66百万円(前年同期比5.3%減)となりました。

こうした結果、当社グループ全体の業績といたしましては、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、1,290百万円(前年同期比12.6%増)となりました。また、利益面につきましては、システム事業で業容拡大を見据え、積極的に新卒技術者の採用を実施したことから一時的に稼働状況が低下したこと、事務機器事業では、OEM等新商材の導入で粗利率が低下したこと等により、連結営業利益は154百万円(前年同期比4.8%減)、連結経常利益は147百万円(前年同期比5.1%減)、連結四半期純利益は79百万円(前年同期比9.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5.2%増加し3,664百万円となりました。

流動資産については、前連結会計年度末に比べ0.3%減少し957百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少等によるものです。

固定資産については、前連結会計年度末に比べ7.3%増加し2,707百万円となりました。これは主に、投資有価証券が増加したこと等によるものです。

流動負債については、前連結会計年度末に比べ1.2%増加し430百万円となりました。これは主に、その他に含まれる未払金が減少する一方、賞与引当金等が増加したこと等によるものです。

固定負債については、前連結会計年度末に比べ1.4%増加し1,496百万円となりました。これは主に、長期借入金が減少する一方、繰延税金負債が増加したこと等によるものです。

純資産については、前連結会計年度末に比べ9.8%増加し1,738百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績を勘案した結果、業績は概ね見込みどおりに推移しており、平成25年5月17日に開示いたしました平成26年3月期の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	374,253	339,910
受取手形及び売掛金	418,940	434,383
商品及び製品	62,642	90,172
仕掛品	8,709	1,442
原材料及び貯蔵品	4,102	3,550
繰延税金資産	28,606	33,348
その他	63,195	54,350
流動資産合計	960,450	957,157
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,226,987	1,226,987
減価償却累計額	△440,231	△458,226
建物及び構築物(純額)	786,755	768,761
機械装置及び運搬具	13,445	13,445
減価償却累計額	△13,409	△13,417
機械装置及び運搬具(純額)	36	28
工具、器具及び備品	152,126	155,894
減価償却累計額	△150,118	△151,405
工具、器具及び備品(純額)	2,007	4,489
土地	1,396,494	1,396,494
有形固定資産合計	2,185,294	2,169,772
無形固定資産		
のれん	700	525
その他	12,651	13,069
無形固定資産合計	13,351	13,594
投資その他の資産		
投資有価証券	275,432	482,555
その他	91,317	82,892
貸倒引当金	△41,471	△41,471
投資その他の資産合計	325,278	523,975
固定資産合計	2,523,923	2,707,342
資産合計	3,484,374	3,664,500

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	139,351	137,755
短期借入金	88,976	88,976
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
リース債務	92	—
未払法人税等	58,393	59,457
賞与引当金	39,799	53,478
その他	78,454	70,547
流動負債合計	425,067	430,214
固定負債		
社債	30,000	20,000
長期借入金	1,240,748	1,200,260
繰延税金負債	58,533	108,449
退職給付引当金	113,487	130,116
役員退職慰労引当金	2,780	3,682
その他	30,512	33,566
固定負債合計	1,476,062	1,496,076
負債合計	1,901,130	1,926,290
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	583,231	583,231
利益剰余金	715,973	754,383
自己株式	△9,022	△9,185
株主資本合計	1,390,182	1,428,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,729	130,655
その他の包括利益累計額合計	23,729	130,655
少数株主持分	169,331	179,124
純資産合計	1,583,243	1,738,209
負債純資産合計	3,484,374	3,664,500

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,146,567	1,290,539
売上原価	810,570	944,988
売上総利益	335,996	345,550
販売費及び一般管理費	173,565	190,957
営業利益	162,430	154,593
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,906	1,672
業務受託料	1,344	1,344
その他	1,175	502
営業外収益合計	4,425	3,519
営業外費用		
支払利息	10,144	9,682
その他	1,349	964
営業外費用合計	11,493	10,647
経常利益	155,362	147,465
特別利益		
投資有価証券売却益	791	2,040
特別利益合計	791	2,040
特別損失		
固定資産除却損	241	—
特別損失合計	241	—
税金等調整前四半期純利益	155,912	149,505
法人税、住民税及び事業税	57,020	70,108
法人税等調整額	2,442	△7,031
法人税等合計	59,462	63,076
少数株主損益調整前四半期純利益	96,450	86,429
少数株主利益	9,294	7,093
四半期純利益	87,155	79,335

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	96,450	86,429
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,454	117,411
その他の包括利益合計	△33,454	117,411
四半期包括利益	62,996	203,840
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,418	186,261
少数株主に係る四半期包括利益	5,577	17,578

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	155,912	149,505
減価償却費	21,647	20,324
のれん償却額	675	175
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,642	16,629
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△346	902
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,054	13,678
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	400	—
受取利息及び受取配当金	△1,906	△1,672
支払利息	10,144	9,682
投資有価証券売却損益 (△は益)	△791	△2,040
売上債権の増減額 (△は増加)	8,237	△15,442
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△47,877	△19,711
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,617	△1,596
有形固定資産除却損	241	—
長期未払金の増減額 (△は減少)	1,120	—
その他	24,850	4,262
小計	170,388	174,696
利息及び配当金の受取額	1,906	1,672
利息の支払額	△10,144	△9,683
法人税等の支払額	△90,810	△69,043
営業活動によるキャッシュ・フロー	71,338	97,641
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△75,989	△39,707
投資有価証券の売却による収入	4,260	12,411
有形固定資産の取得による支出	△404	△3,768
無形固定資産の取得による支出	△2,082	△1,446
敷金及び保証金の差入による支出	△2,448	△20
敷金及び保証金の回収による収入	3,786	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△72,878	△32,530
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△76,620	△40,488
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
リース債務の返済による支出	△556	△92
自己株式の取得による支出	△120	△162
配当金の支払額	—	△40,925
少数株主への配当金の支払額	—	△7,785
財務活動によるキャッシュ・フロー	△87,297	△99,454
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△88,837	△34,343
現金及び現金同等物の期首残高	431,205	374,253
現金及び現金同等物の四半期末残高	342,368	339,910

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。